

日本医師会女性医師支援センター事業 中部ブロック会議

愛知県医師会の取り組み

- 1) 育児期継続就労支援に関するアンケート調査
- 2) 四大学における男女共同参画に関する取り組み
- 3) 平成30年度 女性医師の勤務環境の整備に関する
病院長、病院開設者・管理者等への講習会
- 4) 医学生、研修医等をサポートするための会

第4回育児期継続就労支援に関するアンケート調査結果概要

愛知県男女参画委員会では、育児期継続就労対策の普及状況を把握するため、愛知県下の県下56臨床研修病院を含む全病院を対象にしてH21年から3年間隔で育児期就労支援の実態調査を行っており、本年度は第4回目のアンケート調査を行った。

今回は初めての試みで、愛知県健康福祉部によりアンケートが実施された。

この結果は内容の公開について了承いただいた病院のみ、愛知県医師会及び愛知県のホームページにて公開し、研修医を始めとした医師の就業選択時や休業後の職場復帰時に、病院の勤務環境情報を得るための活用を計っている。

1) アンケート調査の概要

育児期継続就労支援に関するアンケート調査結果

回収期間	平成 21 年	平成 21 年 6 月 19 日	～	平成 21 年 7 月 10 日	(22 日間)
	平成 24 年	平成 25 年 1 月 8 日	～	平成 25 年 1 月 31 日	(24 日間)
	平成 27 年	平成 27 年 6 月 1 日	～	平成 27 年 7 月 10 日	(40 日間)
	平成 30 年	平成 30 年 6 月 26 日	～	平成 30 年 7 月 25 日	(30 日間)
対象	平成 21 年	愛知県内病院	335	件	
	平成 24 年	愛知県内病院	328	件	
	平成 27 年	愛知県内病院	321	件	
	平成 30 年	愛知県内病院	325	件	
目的	平成 21 年	若い女性医師が就業選択の際の条件の一つとして、病院の保育情報を得るため。			
	平成 24 年	男女問わず育児期も継続して働いていくために、各病院にどのような就労支援があるか調査することで、その情報を各医師の就業支援に役立てていただくため。			
	平成 27 年				
	平成 30 年				
回答数 ・ 回収率	平成 21 年	162 病院	48.4%		
	平成 24 年	167 病院	50.9%		
	平成 27 年	170 病院	52.9%		
	平成 30 年	166 病院	51.1%		
結果公開 可能病院 数	平成 21 年	88 病院	54.3%		
	平成 24 年	107 病院	64.0%		
	平成 27 年	108 病院	63.5%		
	平成 30 年	78 病院	46.9%		

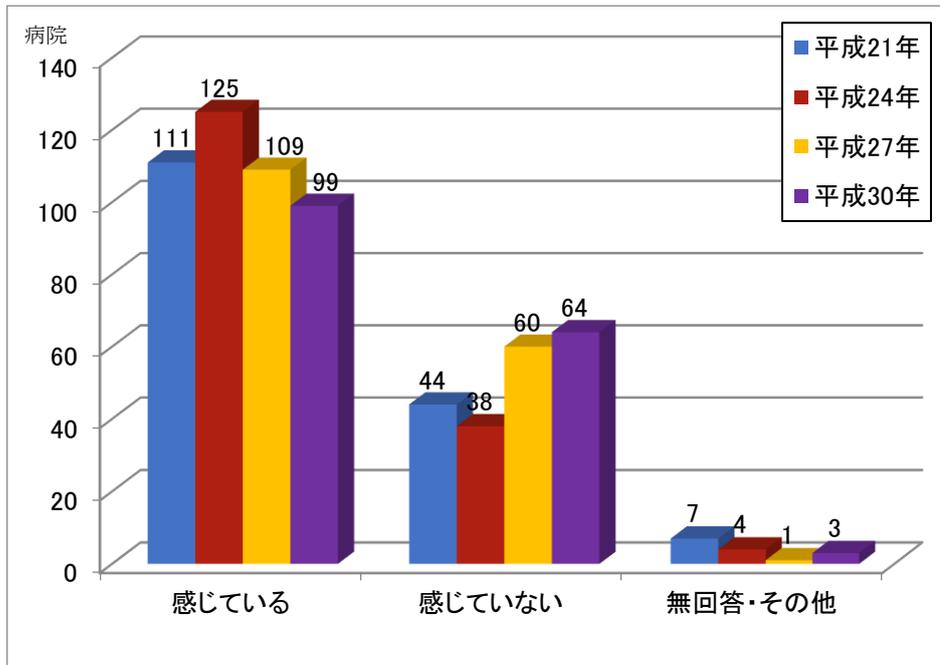
2) 医師数について

① 現在の医師数についてお答えください。

		常勤		非常勤		研修医	
		合計	平均	合計	平均	合計	平均
平成 21 年	男性人数	4,262	26.3	2778	17.1	553	3.4
	女性人数	930	5.7	738.4	4.6	266	1.6
平成 24 年	男性人数	4,525	27.1	3285	19.7	551	3.3
	女性人数	1,126	6.7	956	5.7	265	1.6
平成 27 年	男性人数	5,816	35.9	3636.4	22.4	773	4.8
	女性人数	2,016	12.4	1217.2	7.5	338	2.1
平成 30 年	男性人数	5,878	35.4	3647.19	22.0	720	4.3
	女性人数	1,617	9.7	1104.91	6.7	386	2.3

(人)

② 現在、貴院で医師不足を感じておられますか。

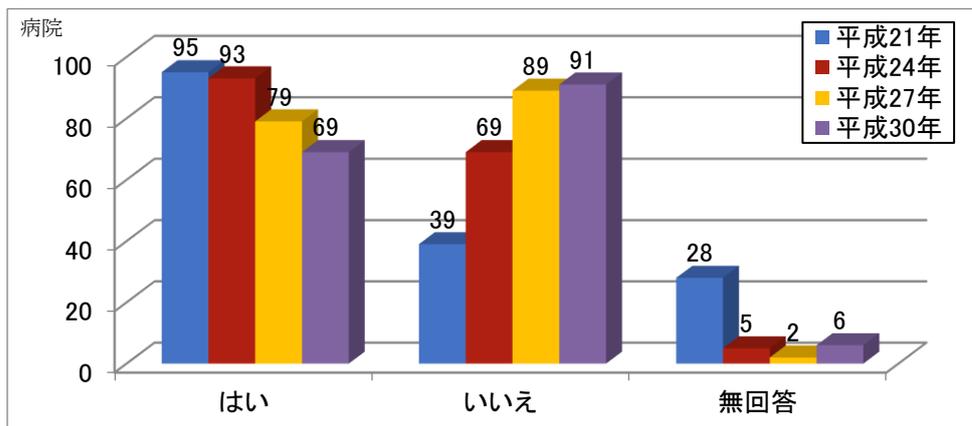


☆☆☆

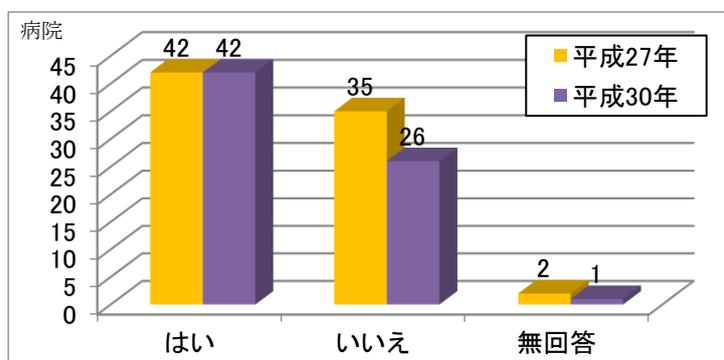
3年前より男性医師・女性研修医を除いた医師数は減少したが、病院に不足感はない。女性常勤医師の減少が大きい。

3) 妊娠中の当直

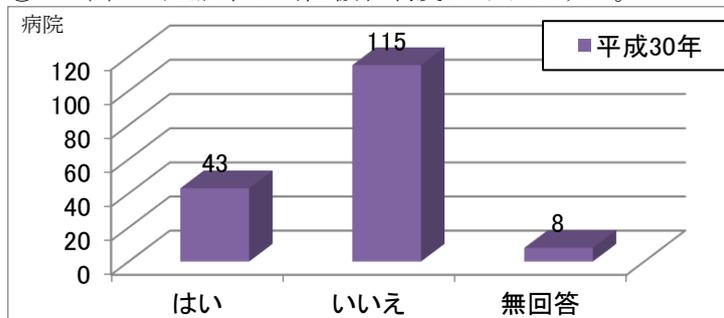
③－(1) 妊娠中の当直免除制度はありますか。



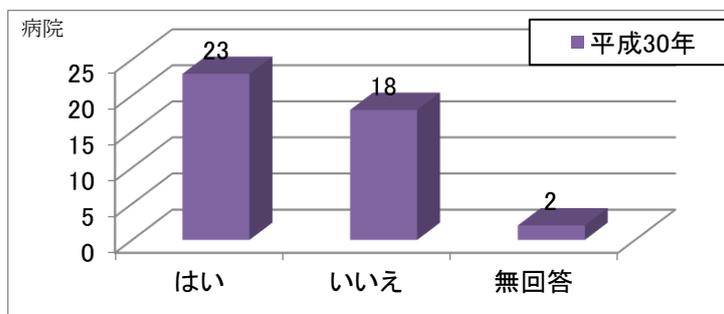
③－(1) C 当直免除を適用された女性医師は過去3年間にありますか。



③－(2) 妊娠中の当直緩和制度はありますか。



③－(2) C 当直緩和を適用された女性医師はここ3年間にありますか。



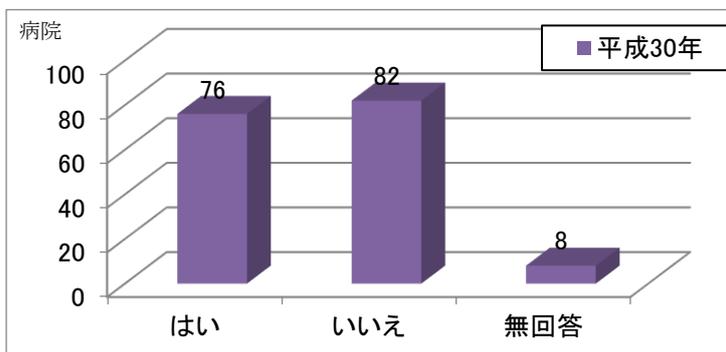
☆☆☆

妊娠中の当直免除は減少し続けている。

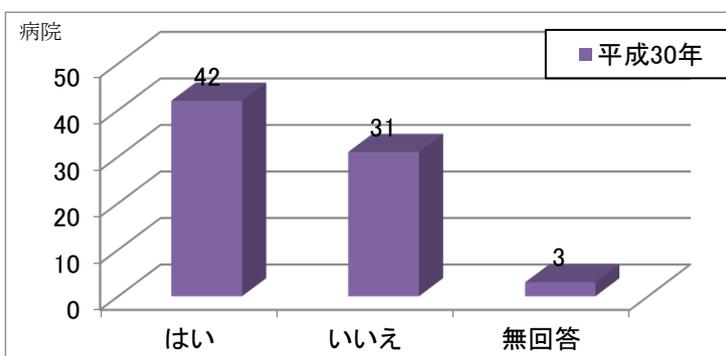
4) 育児中の緩和策

I. 当直

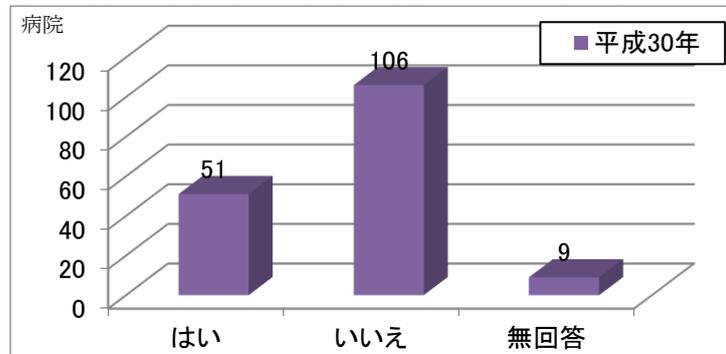
③ー(3) 育児中の当直免除制度はありますか。



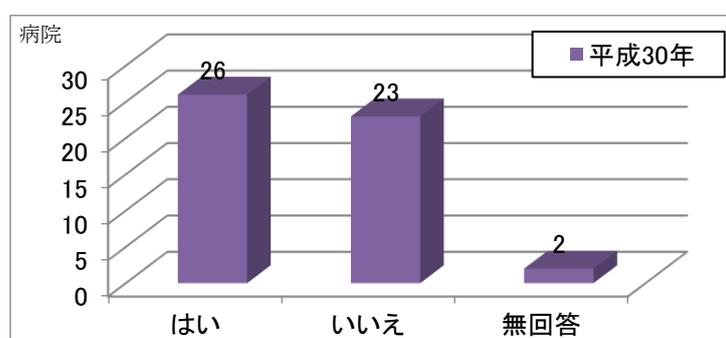
③ー(3) C 当直免除を適用された女性医師は過去3年間におられますか。



③ー(4) 育児中の当直緩和制度はありますか。

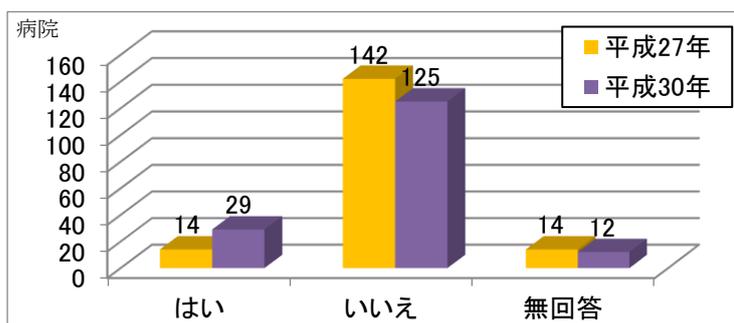


③ー(4) C 当直緩和を適用された女性医師はここ3年間におられますか。



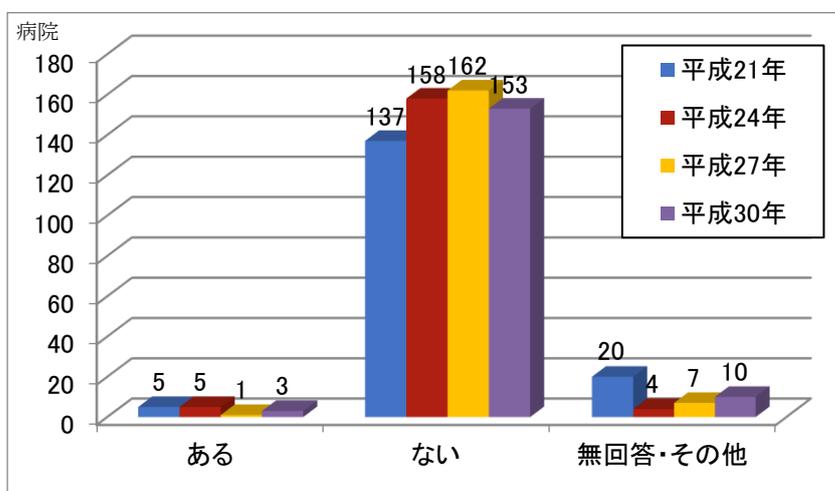
II. 育児中の医師がいる診療科における人員(医師)の増員

③ー(8) 育児中の医師がいる診療科における人員(医師)の増員。

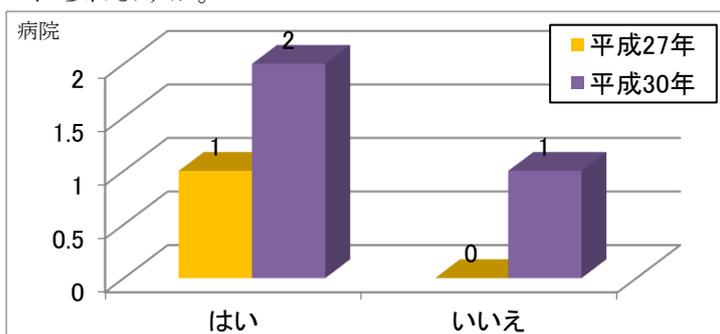


III. ワークシェアリング制度

③ー(9) ワークシェアリング制度はありますか。

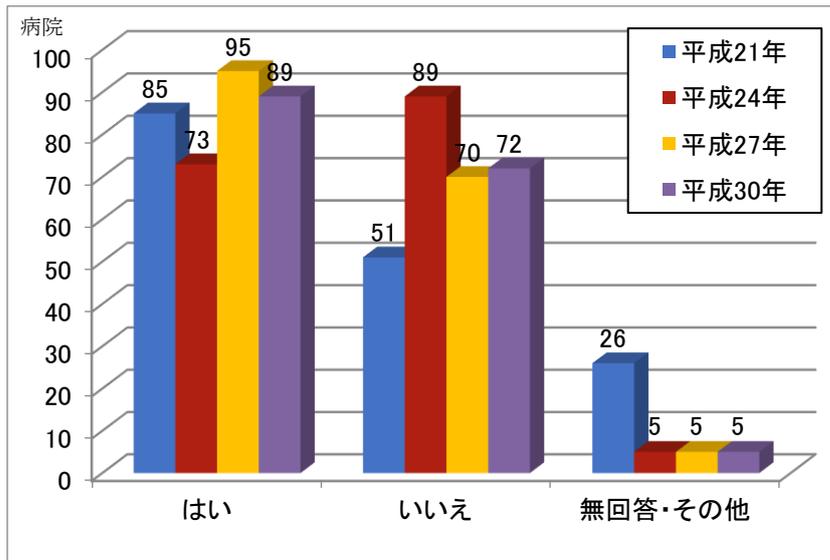


※「はい」と答えた病院のうち、ワークシェアリング制度を活用された医師はここ3年間に
おられますか。



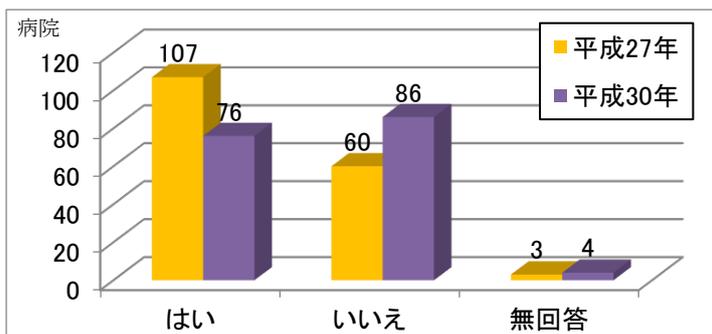
IV. 短時間正規雇用制度

③－(10) 短時間正規雇用制度はありますか。



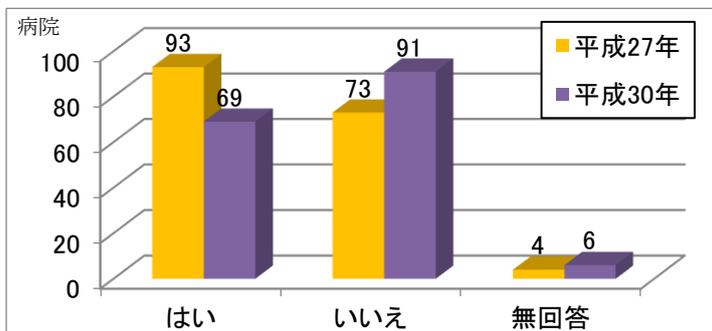
V. 時間外勤務の免除制度

③－(11) 医師の時間外勤務の免除はありますか。



VI. 医師の始業時刻の繰下げ制度及び終業時刻の繰上制度（フレックスタイム制含む）時間外勤務の免除制度

③－(12) 医師の始業時刻の繰下制度及び終業時刻の繰上制度（フレックスタイム制含む）はありますか。



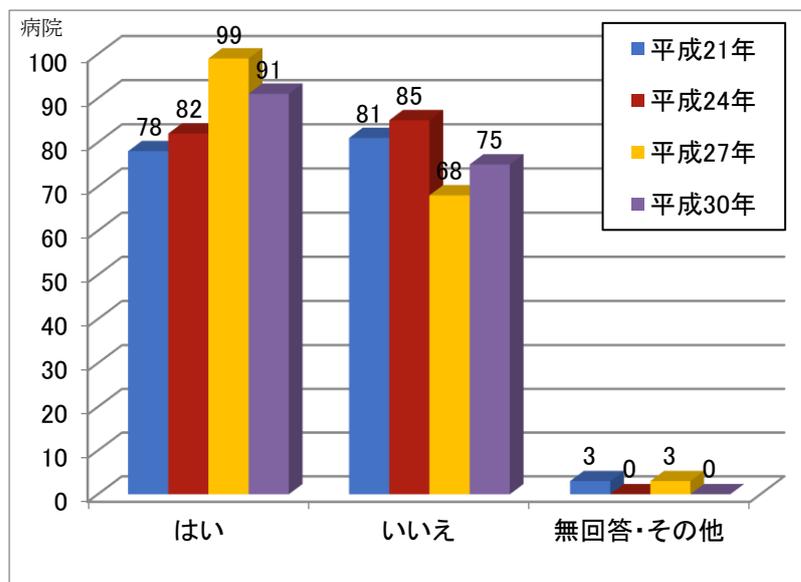
☆☆☆

II. はやや上昇。III. についてはほとんど制度の採用がない。IV. は第1回から第3回まで上昇傾向にあったが今回は全て前回より下がった。V. VI. は前回より減少した。

5) 院内保育制度

I. 院内保育所

④ 医師の利用できる保育制度についてお伺いします。院内に保育施設がありますか。

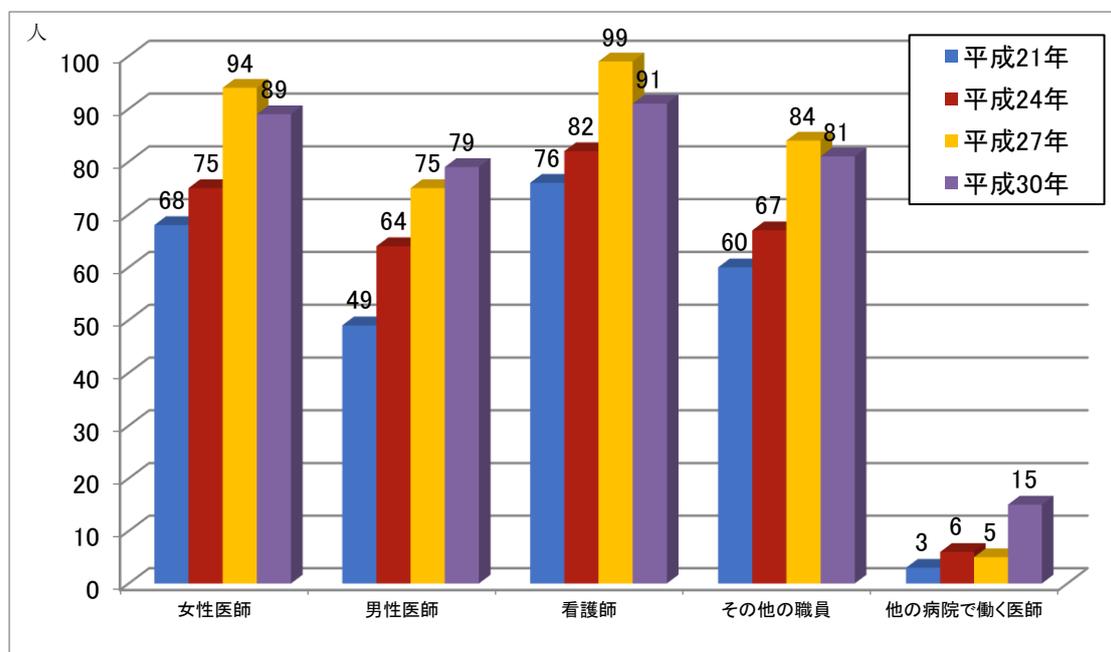


☆☆☆

院内保育施設が今回初めて減少した。回答数の減少・回答した病院の構成が異なるなども考慮して、今後も経過を追う必要がある。

II. 保護者の対象職種

④- (1) 保護者の対象職種についてお答えください。(複数回答可)

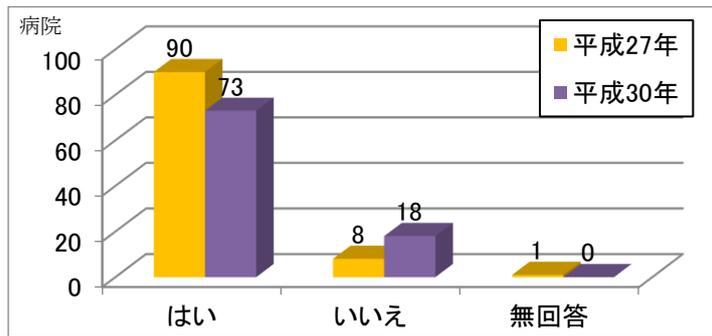


☆☆☆

男性医師の増加傾向が続いている

Ⅲ. 産休明けの受け入れ

④－(4) 産休明けの受け入れはありますか。

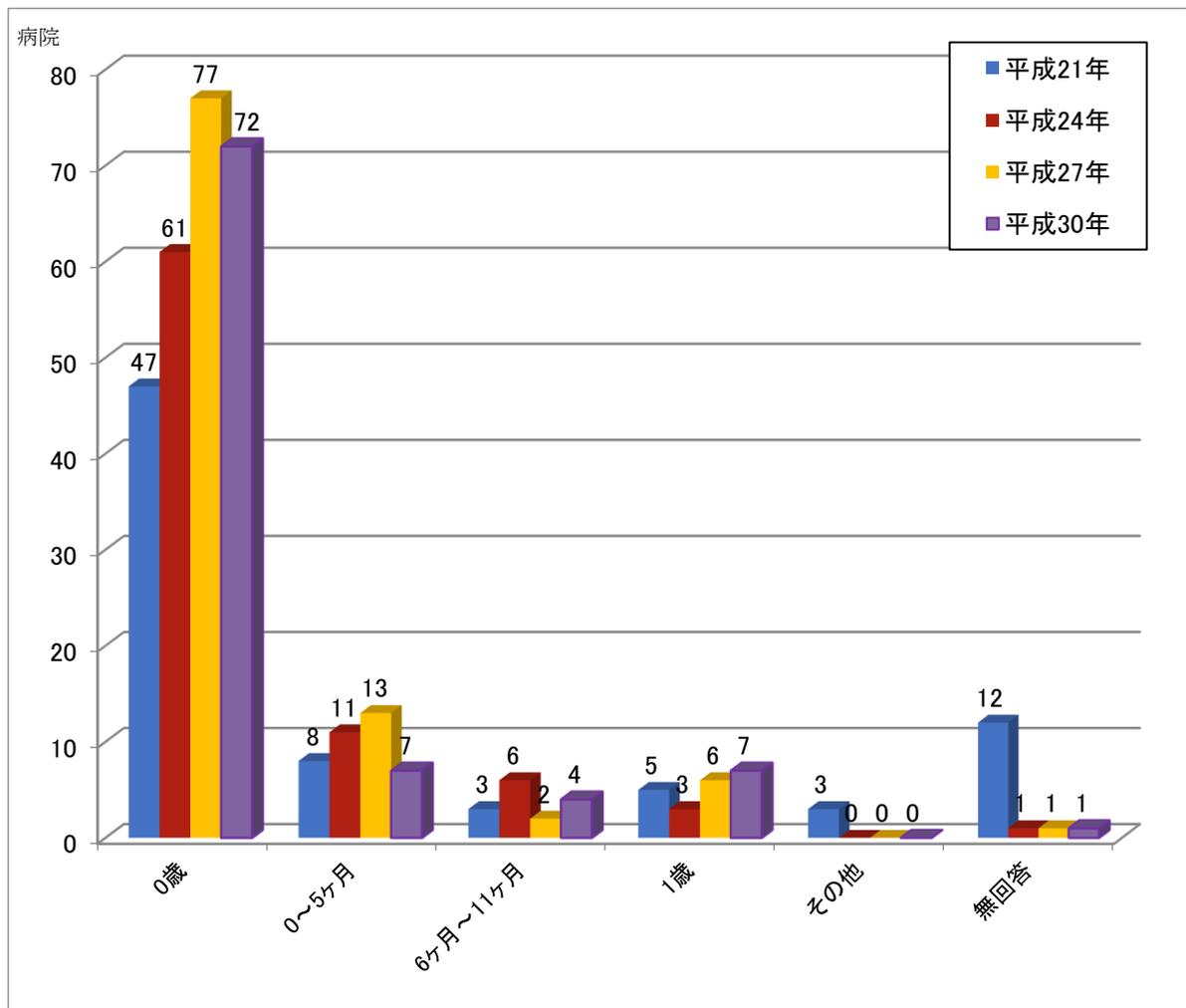


☆☆☆

前回より減少。

Ⅳ. 子どもの対象年齢

④－(5) 子どもの対象年齢についてお答えください。

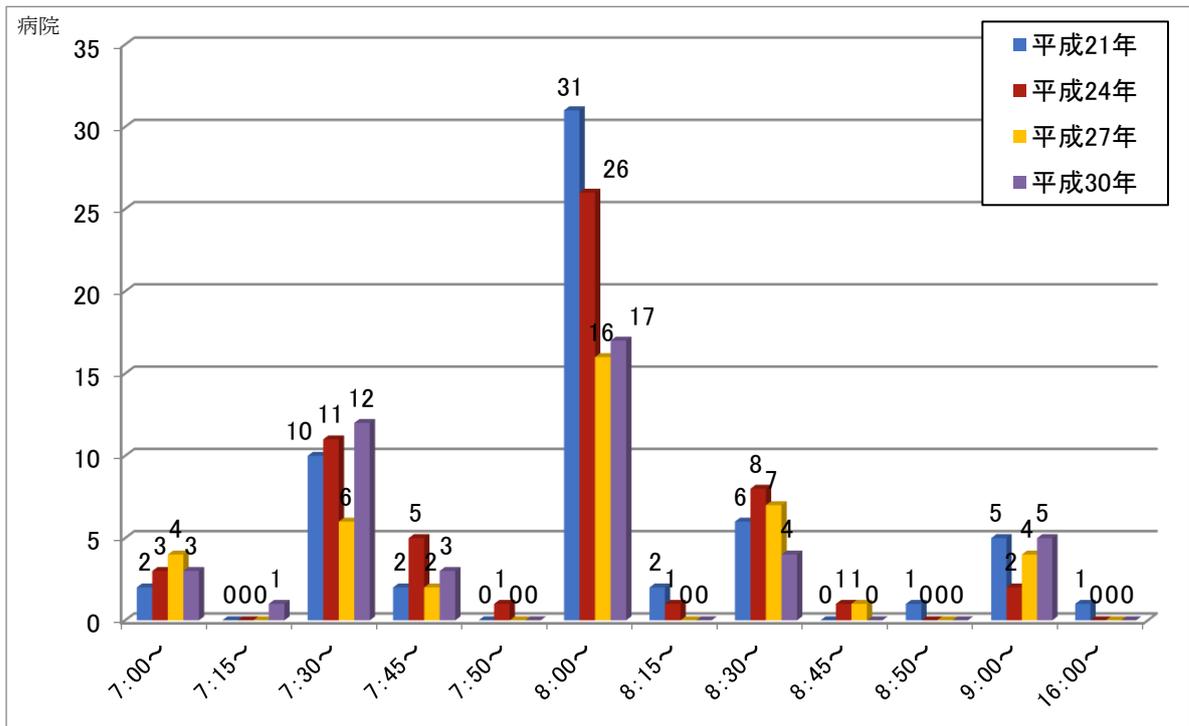


☆☆☆

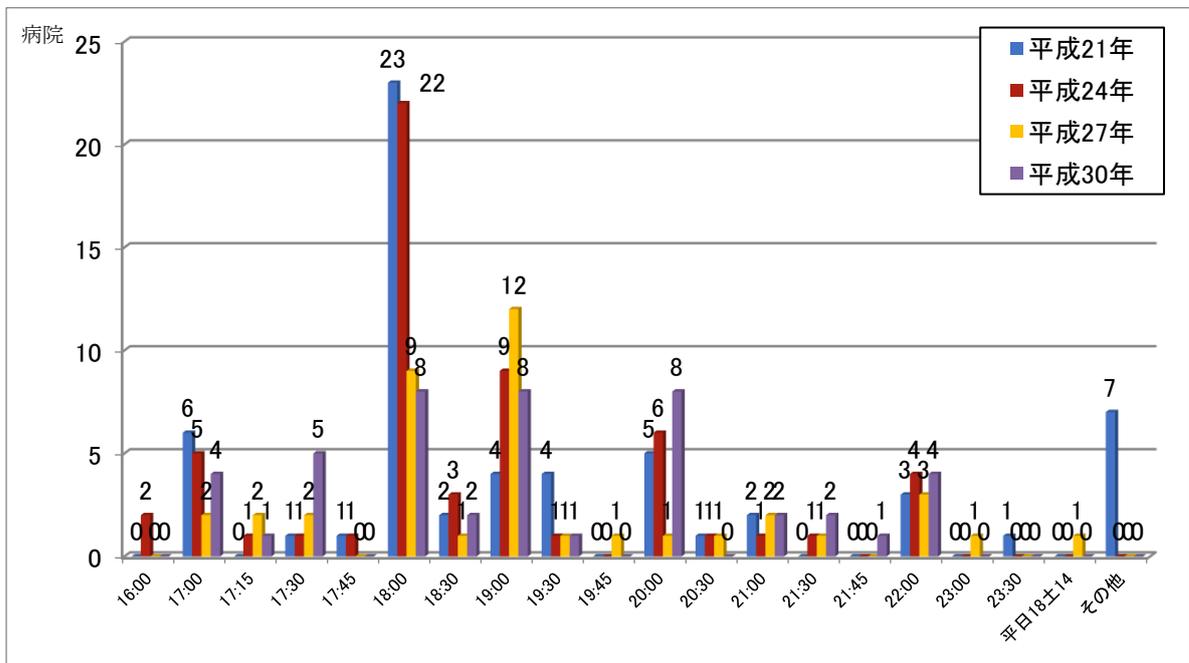
預け入れは「0歳から」が最も多い。

V. 利用時間

④－(6) 保育施設の利用時間についてお答えください。【受け入れ開始時間】



④－(6) 保育施設の利用時間についてお答えください。【受け入れ終了時間】

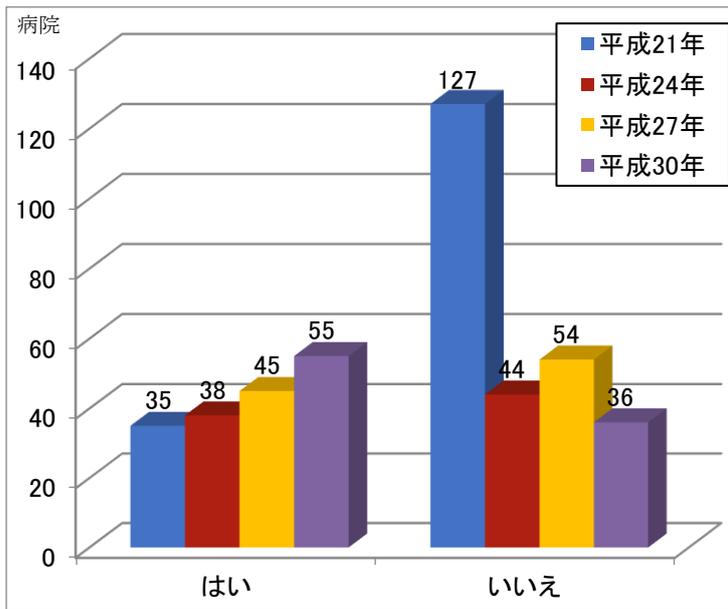


☆☆☆

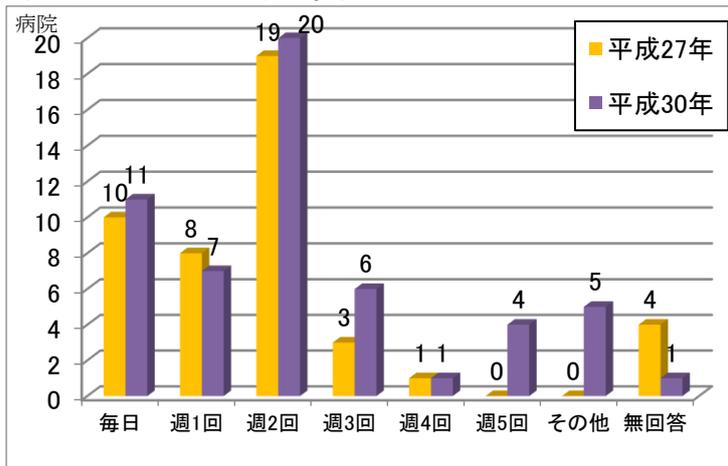
第1回目では、「8時から」が多かったが、今回「8時から」が減り「7時半から」が増えた。第1回第2回は「18時まで」が圧倒的に多かったが、今回は18時・19時・20時が増加しほぼ同じ数となった。保育時間が延長されたようである。

VI. 24時間保育

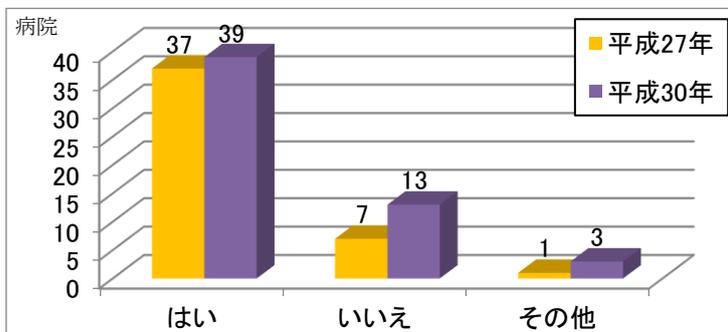
④－(6) 24時間利用可能。



④－(6) 「24時間利用可能」と答えた医療機関にお伺いします。
(A. 週に何回可能ですか。)



(B. 食事の提供はしていますか。)

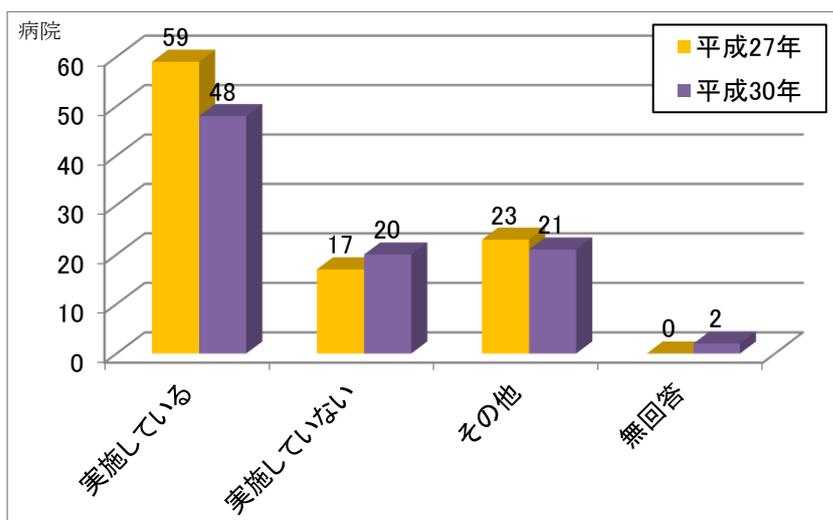


☆☆☆

24時間利用可能な施設数が増加した。

VII. 土日祝の実施状況

④－(7) 保育施設の土・日・祝の実施状況はどうか。

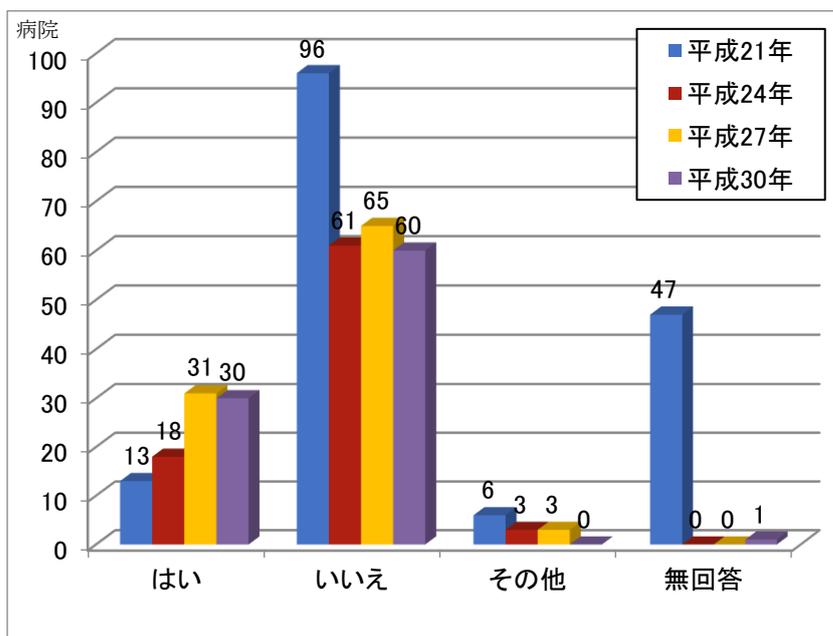


☆☆☆

土日祝の実施は減少した。

VIII. 病児保育

④－(8) 病児保育は実施していますか。

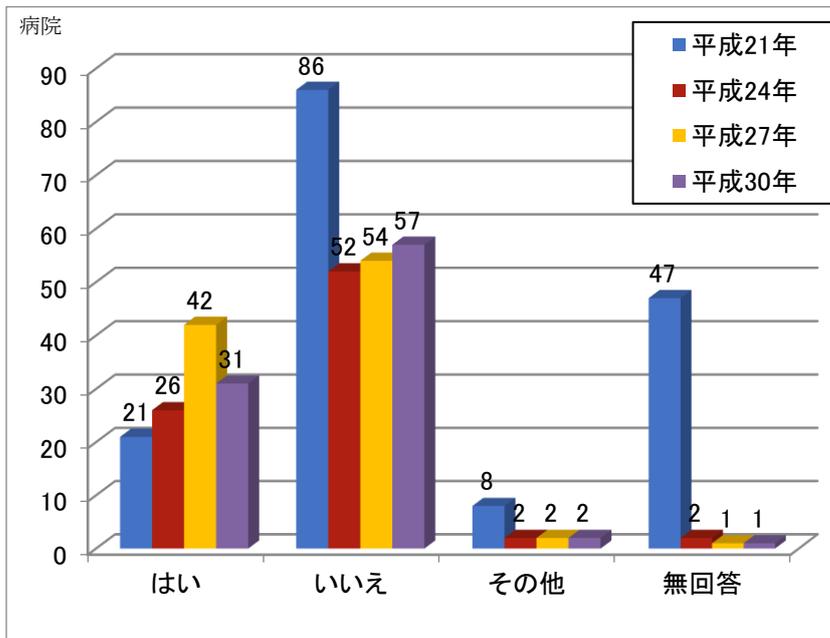


☆☆☆

今回、初めて減少。

IX. 病後児保育

④－(9) 病後児保育は実施していますか。

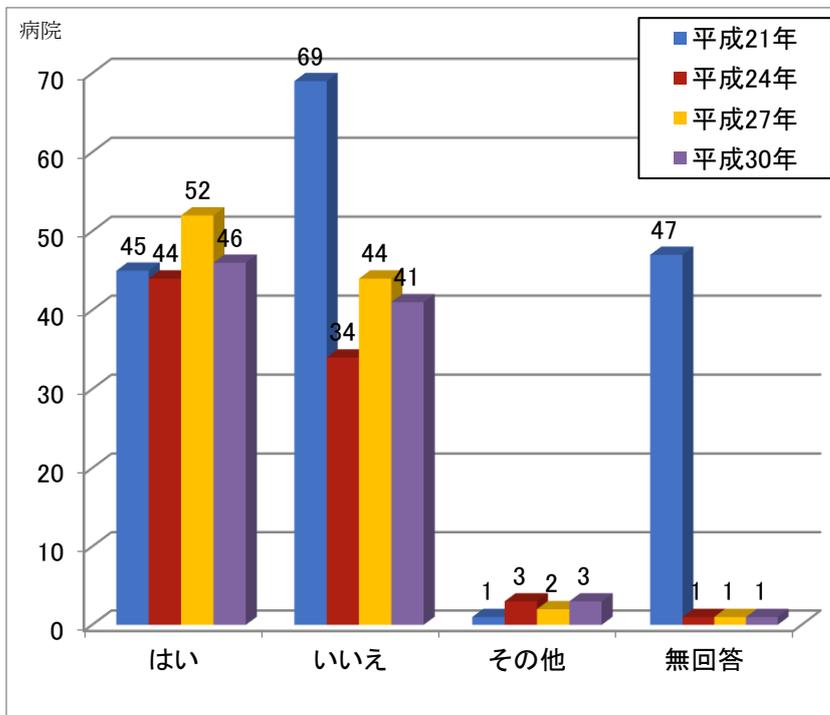


☆☆☆

今回、初めて減少。

X. 緊急一時保育

④－(10) 緊急一時保育は実施していますか。



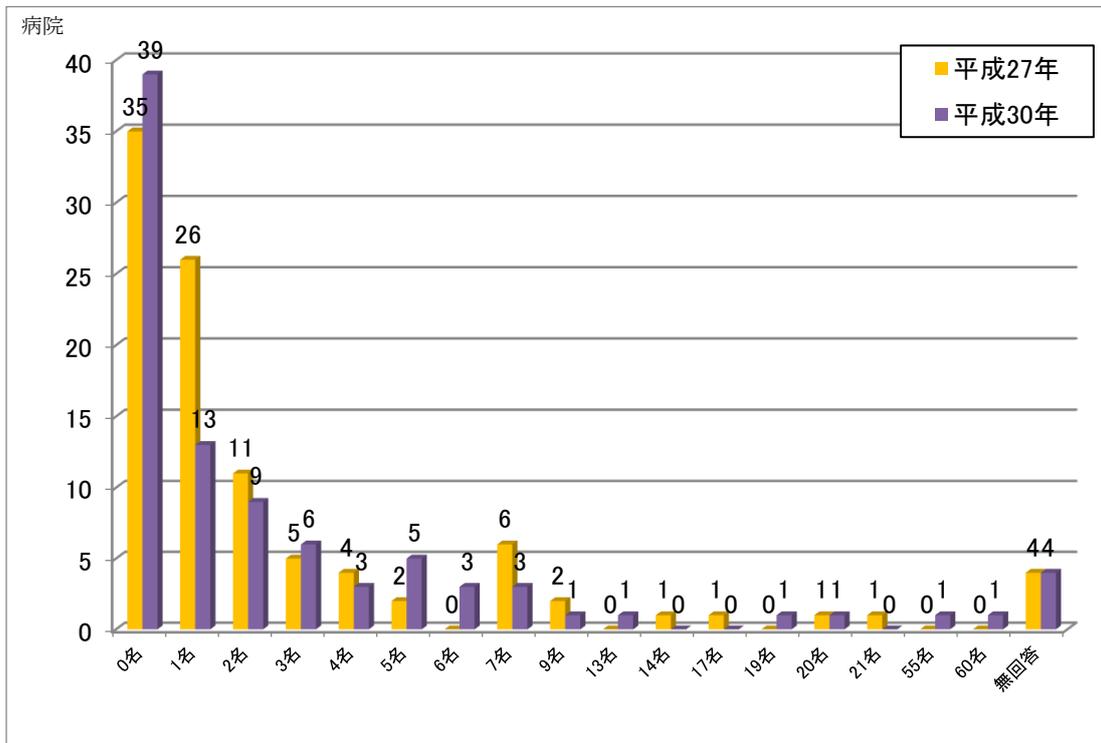
☆☆☆

今回は減少。

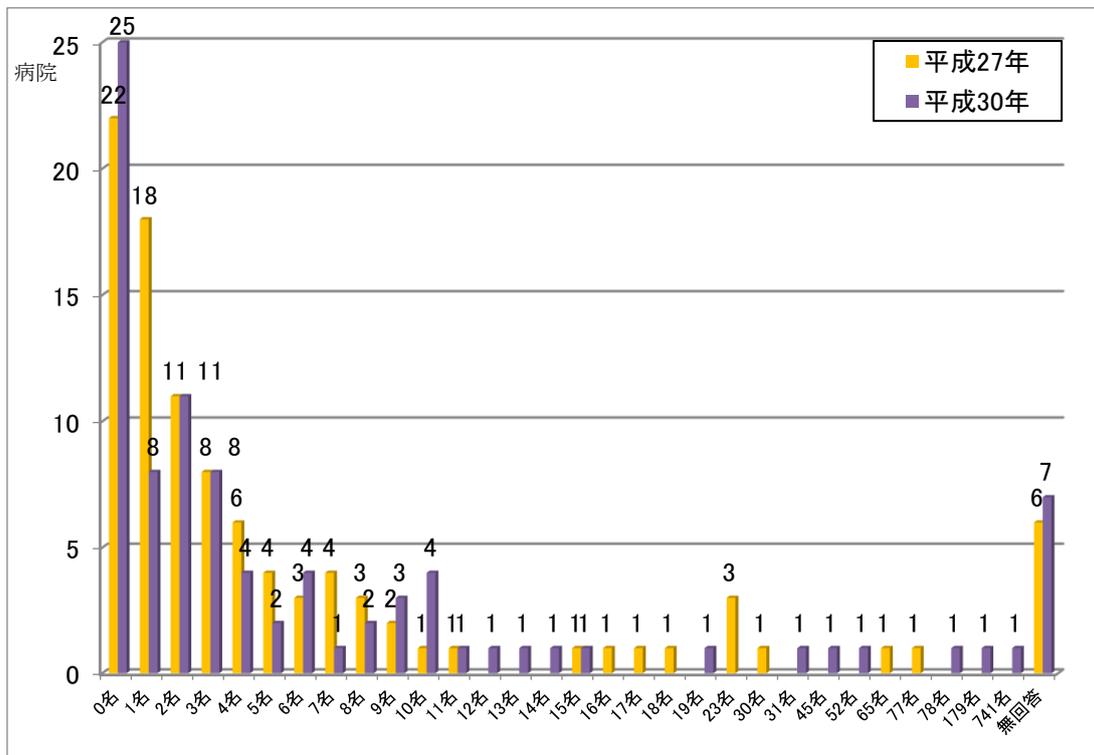
XI. 医師の利用状況

④－(11) 保育施設の医師の利用実績(定期利用・緊急時を含む)についてご記入ください。

【現在】



【過去3年】

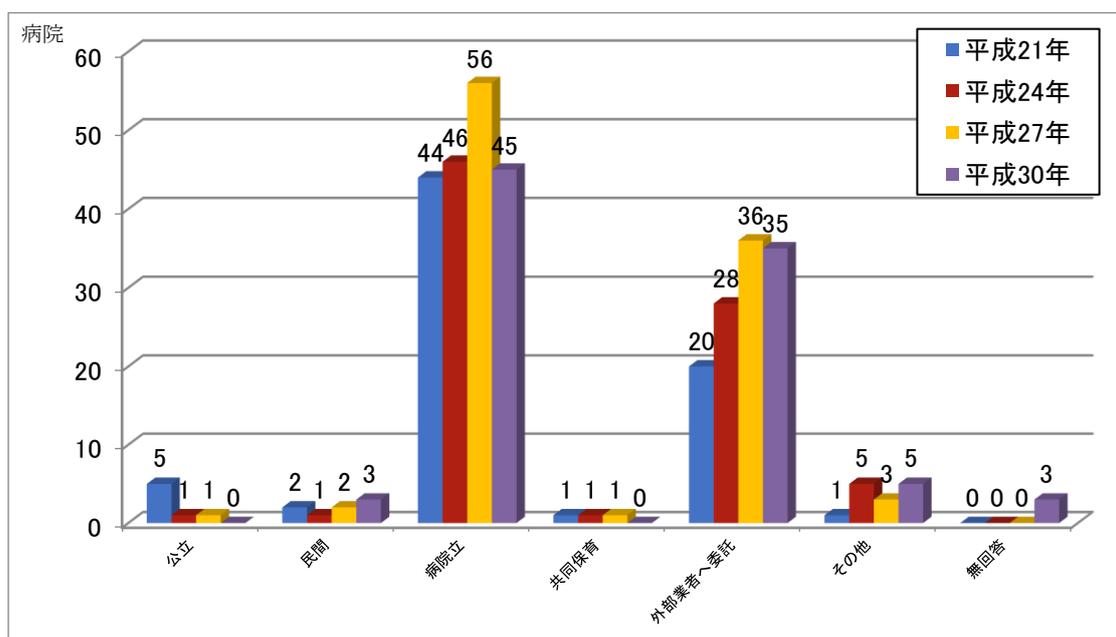


☆☆☆

VIII. IX. X. の利用状況は0が多い。

XII. 院内保育の運営母体

④－(12) 院内保育のある場合、その運営母体はどこですか。



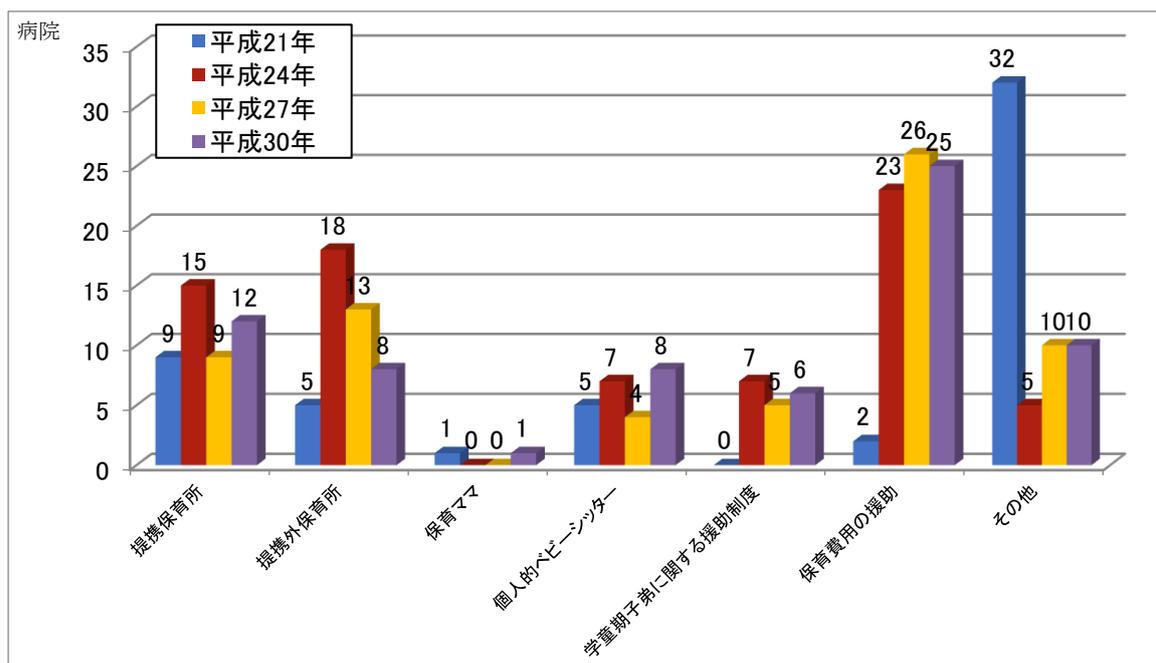
☆☆☆

院内保育施設の減少（I.に記載）は病院立の減少か。

院内保育所は減少傾向、特に病院立が減少か。V.利用時間の延長や、VI.24時間保育は毎日ではないところも多いが可能な施設が増加したことは、利便性が高くなったと評価できる。VIII.IX.X.の減少は、XI.のような利用状況では、やむを得ないかもしれない。

6) 院内の保育施設以外の補助制度

⑤ 院内の保育施設以外の補助制度はありますか。（複数回答可）



《 総 括 》

H21年度に施行した第1回目からH30年度の今回までの10年間で、医師の子育てについて次のような変化が起きた。

- ・妊娠中の当直免除減少
- ・育児期の支援策については、あまり大きな変化はない。ワークシェアリング制度はほとんど使われていない。
- ・院内保育施設は、病院立が主に減少か
- ・保育時間などは改善。
- ・病児保育・病後児保育・緊急一時保育は全てやや減少。

以上のことから、今後の方針を以下のように考えた。

- 1) 当直免除および軽減策については、制度とするのではなく各病院・各科ごとに現場で工夫していることが育児期継続就労支援についての自由記載から覗われ、実態を知るにはもう少しきめの細かい質問を工夫する必要がある。
代替医師についても同じ状況で、行政の考える代替医師派遣事業と医療現場での実情・認識に大きなギャップがあるようで、あえてこの概要にはこの項目について言及しない。
- 2) 男性医師に適用されてもよい事柄には「・・・適応された女性医師は・・・」という質問ではなく、「・・・適応された医師・・・」とし、その次の質問に男女別の数を聞くようにしたい。こうした動きは、これらのアンケートも女性医師に限った子育て支援ではなく、医師の働き方改革の枠組みに従来の子育て支援を組み込む方向への変化を後押しする。
- 3) 院内保育については、病児・病後児・緊急一時保育などは医師の利用者が少ないことから、むしろ短期の育児休業を取りやすくする、小児科医院に既存の病児・病後児保育の活用などの方策のほうが現実性がある。院内保育施設は、ほぼ頭打ちであるが、既設の施設での保育内容は充実してきている。また、3歳までの保育が多く3歳児以降は院外の保育施設に移るケースが多いようであり、院内の保育施設以外の補助制度の普及促進も一つの方向であろう。

(文責 愛知県医師会男女共同参画委員会委員長 伊藤富士子)

愛知県内4大学シラバス一覧表

大学名	学年	区分	講義内容	講師
名古屋大学	1学年	医学入門	男女共同参画	伊藤 富士子
				丸山 彰一
				高橋 義行
			私は何故この道を選んだか	豊國 伸哉
				岡島 徹也
				近藤 豊
名古屋市立大学	1学年	医学入門	プロフェッショナリズム1： 名市大医学生としての誇りと責務	郡 健二郎
			医師としての働き方を考える	水野 美穂子
			医師のキャリア継続と向上	津田 喬子
			医学と医療と人生と	奥田 宣明
			市立病院長からのメッセージ	桑原 義之
藤田医科大学	1学年	医学教育入門A	女性医師のキャリアデザイン	佐々木 ひと美
			臨床医としての道	石原 慎
			研修医の生活	吉川 哲史
			研究者としての道	近藤 一直
			グループワーク： キャリア・デザインの構築	中島 昭
				後藤 和恵
愛知医科大学	1学年	プロフェッショナリズム1b (臨床入門)	男女共同参画	伊吹 恵里
			男女共同参画	伊吹 恵里
			医師としての心構え	伴 信太郎
			医師としての心構え	伴 信太郎
			医師という職業	前川 正人
			プロフェッショナルとは？	青木 瑠里
	2学年	プロフェッショナリズム2	男女共同参画	小出 詠子
			先輩から聞く医師のキャリア	早稲田 勝久
	4学年	プロフェッショナリズム4	卒後キャリア形成について	藤井 公人
				高橋 美裕希
				山本 さゆり
			多職種連携（看護部との合同） ～患者安全・チーム医療～	宮田 靖志
		川原 千香子		